

京都大学

大学院 地球環境学堂・学舎

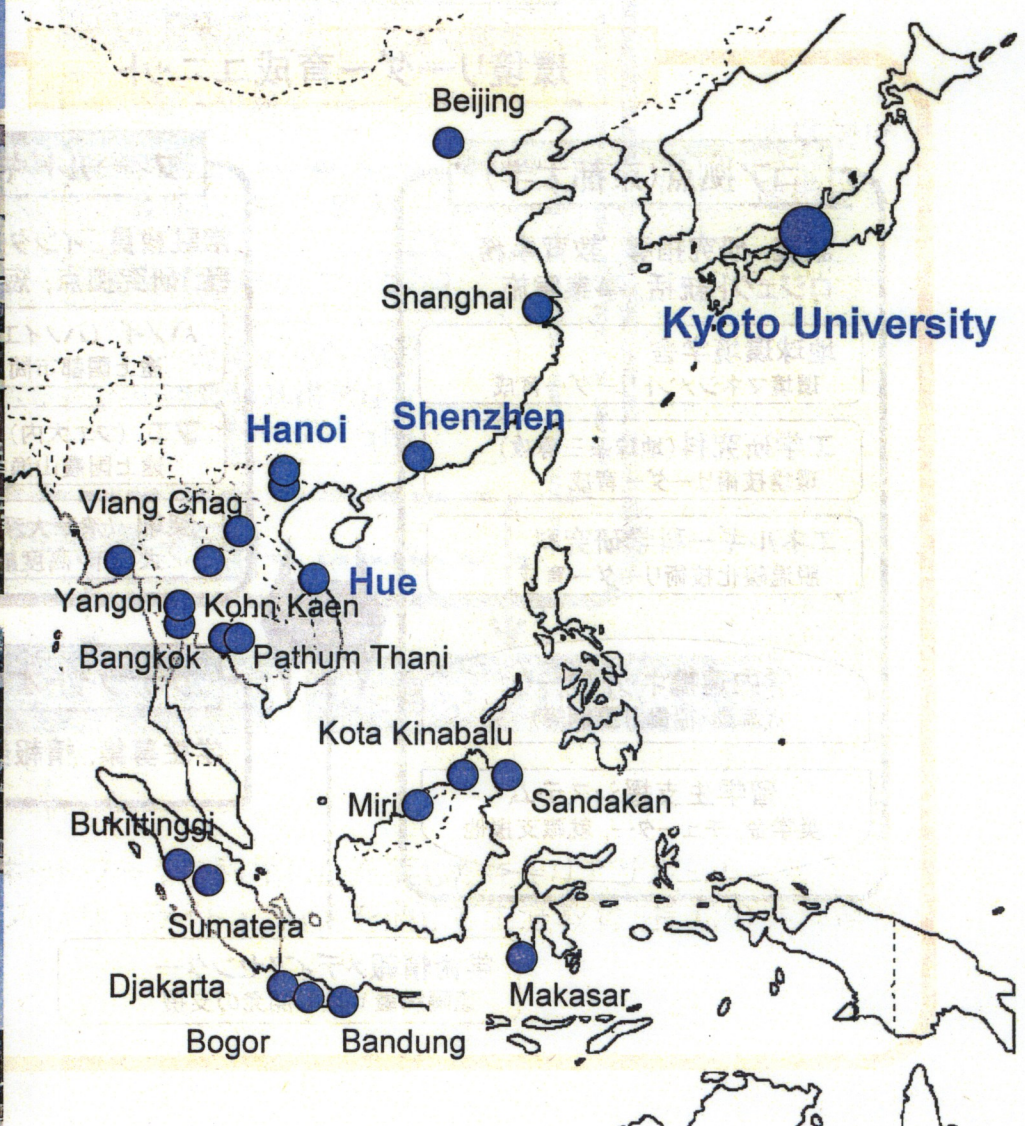
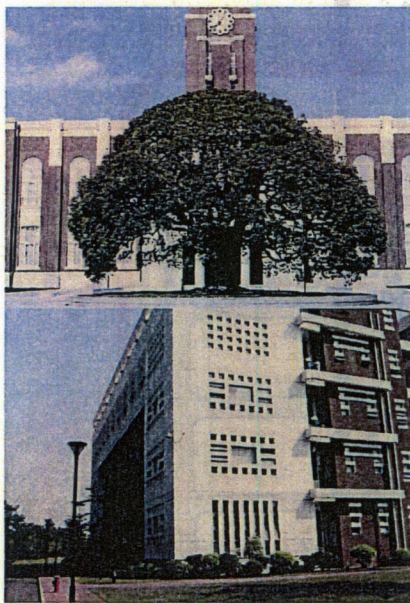
大学院 工学研究科

大学院 エネルギー科学研究科



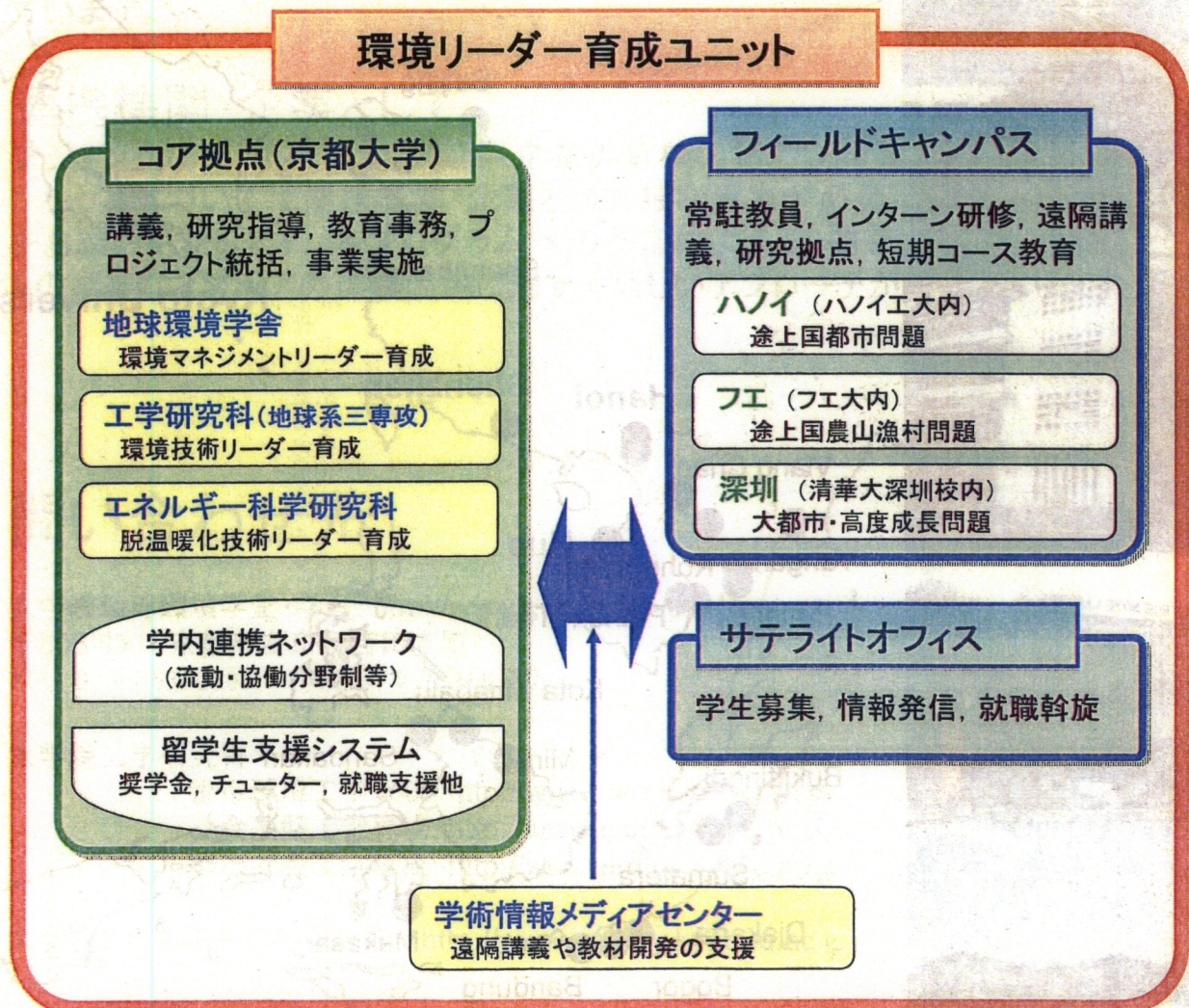
科学技術振興調整費
戦略的環境リーダー育成拠点形成

環境マネジメント人材育成国際拠点



概要

- この事業はアジア地域の環境問題を解決する環境リーダーを育成することを目的としています。期間は5年間です。
- この事業は文部科学省 科学技術振興調整費「アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進」の一環として行われます。
- 京都大学(地球環境学堂, 工学研究科, エネルギー科学研究科)をコア拠点として, 海外に設置するフィールドキャンパスや連携機関・企業と密接な協力に基づいて運営されます。
- 育成プログラムは環境マネジメントに関する文理融合型の学理講義, 長期インターン研修, ミニプロジェクトワーク, および学位研究などから構成されます。
- 本プログラムは長期コースと短期コースから構成されます。長期コースでは毎年, 修士課程8人, 博士課程12人を受け入れます。また, 短期コースでは各海外フィールドキャンパスごとに毎年5人の育成を行います。



プログラムの特徴

- アジアの環境問題およびそれを解決するためのシステム・技術に関する文理横断型のアプローチ

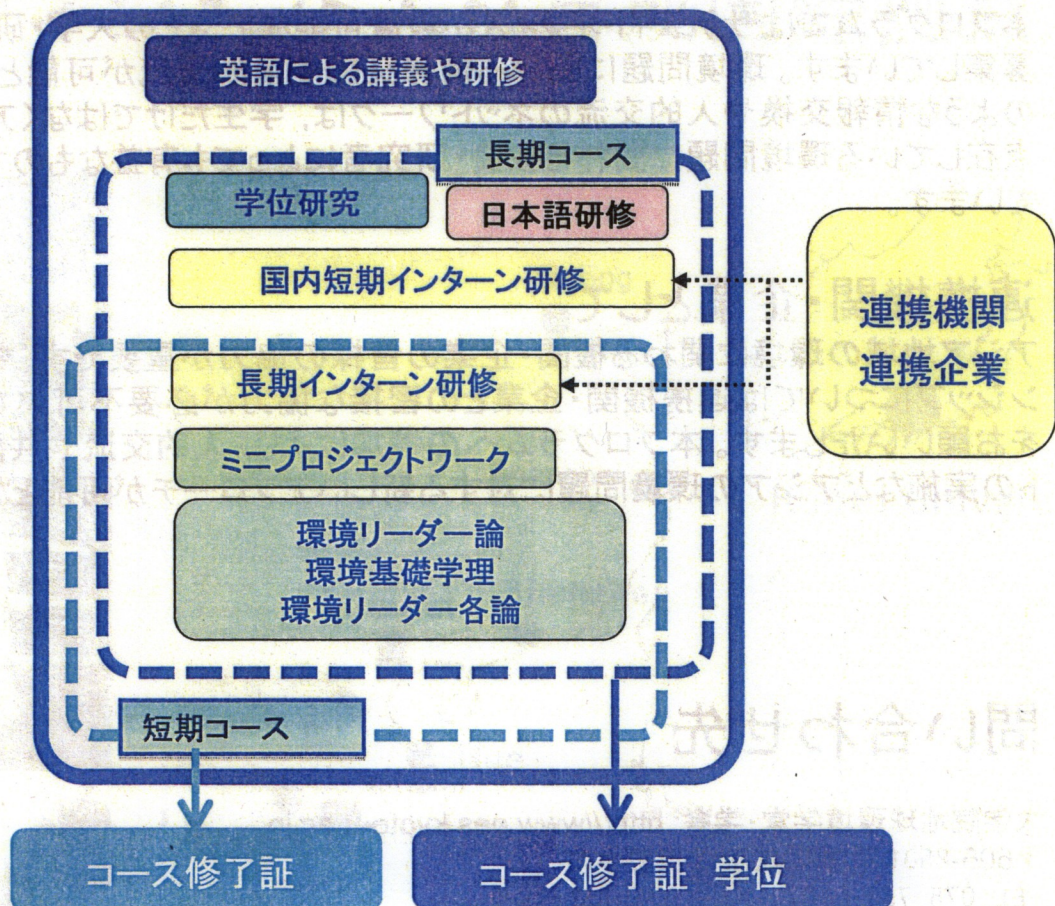
インターン研修に重点を置くなど実践的側面を重視した教育プログラム

- 短期コース: 様々な環境問題に対応可能な柔軟なプログラム

- 長期コース: 1年目は講義とインターン研修, 2年目, 3年目は学位研究から構成

- 英語による講義や研修

- 充実した奨学金制度



卒業後のサポート

- 連携機関・企業のネットワークを利用した充実したキャリアサポート

- フィールドキャンパスやサテライトオフィスを通じて生涯教育・長期の共同研究

このプログラムへの参加について

学生として

このプログラムはアジア地域の環境問題に興味を持つ皆さんにとって理想的なプログラムです。インターン研修と文理横断型の講義を通じて、次世代の環境リーダーに必要な教育を提供します。目的に応じて長期コース、短期コースの選択ができます。また、海外のフィールドキャンパスやサテライトオフィスでも受験が可能となる予定です。奨学金等の経済的な学生支援制度も充実しています。

サテライトオフィスとして

本プログラムではサテライトオフィスが設置可能なアジアの大学・研究機関等を募集しています。環境問題に関わる情報交換や人的交流が可能となります。このような情報交換や人的交流のネットワークは、学生だけではなくアジア地域に点在している環境問題に関わる教員・研究者にとっても有益なものであると考えています。

連携機関・企業として

アジア地域の環境に関わる機関・企業の皆様の協力が重要です。特にインターンシップについては連携機関・企業との密接な協力が必要不可欠です。ご協力をお願いいたします。本プログラムへの参加により、人的交流や共同プロジェクトの実施などアジアの環境問題に対する新しいアプローチが可能となります。

問い合わせ先

大学院地球環境学堂・学舎: <http://www.ges.kyoto-u.ac.jp>
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL: 075-753-9167 FAX: 075-753-9187

大学院工学研究科

都市環境工学専攻: <http://www.uee.kyoto-u.ac.jp>

社会基盤工学専攻: <http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp>

都市社会工学専攻: <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp>

大学院エネルギー科学研究科: <http://www.energy.kyoto-u.ac.jp>